



豊かな人権感覚を育てる保育

～公立保育所(三国保育所・御原保育所・大崎保育所)の取組～



豊かな人権感覚を育てるためには、幼児期からの学びが大切です。市立保育所では、人権を大切にし、差別をなくしていく主体性のある子どもたちを育てるために、豊かな人権感覚を育てる保育に取り組んでいます。

平和の取組

反戦をテーマにしたビデオを観たり、原爆被爆者から直接話を聴いたりして、多くの命を奪う戦争は絶対にしてはいけないということを学んでいます。被爆者からは「戦争は、国と国との喧嘩。みんなは、けんかをして話し合ったり相手のことを考えたりすることが大切。戦争は絶対に嫌だと伝えて」と涙ながらに話があり、子どもたちの心に深く響いていると感じています。



保護者の声

戦争の恐ろしさをしっかり伝えてもらっているのだから、「戦争は怖いもの、ダメなもの」と理解しているようです。子どもに質問されたときに答えられる親でありたいと思うので、子どもと一緒に学んでいきたいです。

車いす体験

車いすを使って近くの集会所に行ったり、施設内を移動したりして、トイレやスロープなどが車いす利用者にも利用しやすいように配慮されていることを学んでいます。体験をとおして、相手を知ることの大切さを理解し、相手の立場に立って考えることのできる人に育ててほしいと願っています。



仕事の取組

家族がどんな仕事をしているかを話したり、近くの店へ職場見学に行ったりして、身の回りにある全ての仕事が、自分たちの生活を支える大切な仕事だということを学んでいます。中でもごみ収集の仕事について話を聴く交流は、楽しく体験しながら、仕事の大切さや働く人の思いを知る大切な機会となっています。



保護者の声

小さいころから「仕事」について考え、興味を持つことで、夢を持つことにもつながっていくと思います。生きるために仕事をし、また仕事をしている人に助けられながら生活ができていくこと、親としても改めて勉強になりました。



豊かな人権感覚を育てる保育は、市内の各保育園・幼稚園にも広がりさまざまな取組が行われています。今後も、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすために、子どもたちを取り巻く大人の学びやつながりを大切にしながら保育を進めていきます。